

北部ひとまもり・まちまもり協議会
地域ビジョン【概要版】

令和7年3月



北部ひとまもり・まちまもり協議会の地域ビジョン

地域ビジョンとは、ひとまもり・まちまもり協議会がこれからの地域をより良いものにしていくためにはどのように活動すればよいかを示す指針です。将来を見据えたまちづくり活動を行うための体制づくりのきっかけとなるものであり、住民と自治体等が対等なパートナーとして、ともに理想の地域を築くための道しるべです。この度、北部ひとまもり・まちまもり協議会としての今後のまちづくりの指針となる「地域ビジョン」を策定しました。

■ 地域ビジョン

地域の特色ある資源をいかし、
「ひと歴史も自然も大切にすまち」へ

北部ひとまもり・まちまもり協議会の
目指す地域づくり

地域の歴史や自然を大切にし、多様な団体と連携した取組を行う組織として、豊かな資源をまもる活動に取り組んできました。地域の特性をいかした独自の活動を通して、「北部らしさ」のあるまちづくりを進めています。一方、将来を見据え、徐々に次世代の育成を進めていく必要もあります。

今後の活動の継続や、地域の活性化を見据えると、学生との交流の機会を設け、継続してまちづくりにかかわってもらえるような仕組みをつくる必要があります。また、地域内で協議会に対する関心や参加意欲に差があるという意見もあるため、自然や史跡などの独自の資源を活用し、住民が共通の目的意識を持てるよう工夫をすることが求められます。

住民全体で協力しながら、豊かな自然と趣深い歴史に囲まれたこの地域で、今ある大切なものをまもりながら、将来に向けて発展していく協議会となっていきます。

■ひとまもり・まちまもり協議会とは

ひとまもり・まちまもり協議会は、多様な人や団体が連携して、住民が力を合わせて主体的に地域づくりを行う新たな地域コミュニティです。地域住民が中心となって、地域の特性をいかながら連帯感を高め、将来を見据えた地域づくりを行っています。自治会を含めた多様な主体や幅広い人材が連携・協力することにより、様々な課題に対して、ネットワークをいかした自主的・効果的な取組が期待できます。

地域ビジョン策定について

地域ビジョン策定にあたり、住民の声を反映するためにワークショップを実施しました。北部ひとまもり・まちまもり協議会の現状と課題についての整理を行い、活動するうえでの活動目標と活動方針を整理しました。

■ 北部ひとまもり・まちまもり協議会の今後の活動目標

活動目標①	やりたいことを実現できる組織づくり
求められていること	●様々な人の意見を聴き対話する「場」を設ける ●地域同士の相互理解を深め、全体が一つになる取組をする ●地域の人が集まって、楽しむことができる「場」を提供する ●今までの活動を見直し、新たな取組を実施する
活動方針	活動の目的を共有するとともに対話の「場」を設け、積極的に新しいアイデアを実現できる組織にしていします。

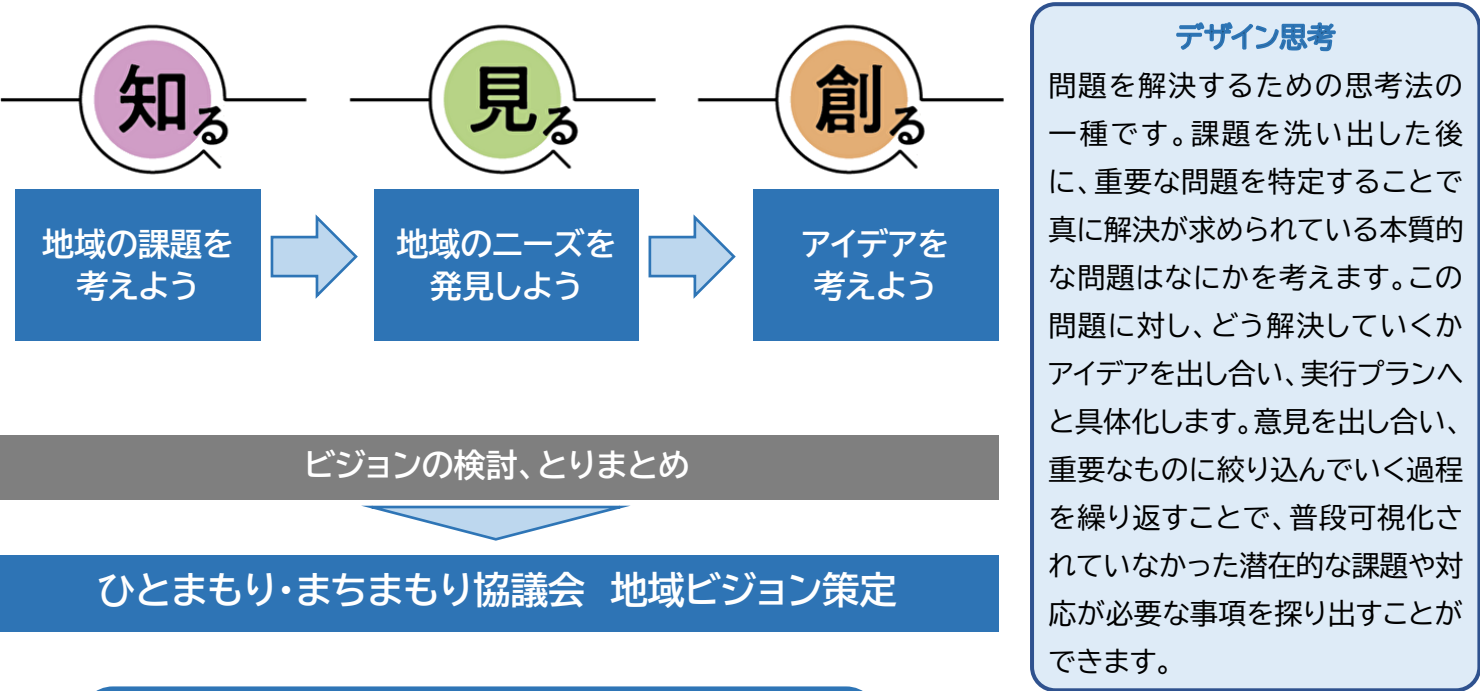
活動目標②	継続的にかかわりたくなる取組
求められていること	●若い人が参加しやすい環境をつくる ●子どもが中心になる取組を実施する ●学校と連携し、児童・生徒・学生とのかかわりを増やす
活動方針	若い世代にも継続的にかかわってもらうために、単なる交流にとどまらず、地域をより良くできるという実感をもてる活動を行います。

活動目標③	ターゲットを明確にした的確な情報発信
求められていること	●協議会の認知度を上げる広報活動をする ●協議会がどう評価されているか情報を収集する
活動方針	掲示板、回覧板、インターネット等により行っている情報発信方法について、より効果的な活用をします。

活動目標④	困ったときに遠慮なく助け合える地域づくり
求められていること	●防災とイベントを掛け合わせた取組をする ●買い物場所や移動手段の問題に取り組む ●いざという時に備え日常のコミュニケーションを推進する ●空き家対策を実施する
活動方針	住民の日常生活をまもる活動を継続しながら、災害時に向けての備えを充実させる取組をします。住民同士のコミュニケーションを促し、相互協力できる地域をつくります。

課題解決ワークショップの開催について

地域ビジョン策定にあたり、住民の声を反映するために、「持続可能なまちづくり」をテーマとし、デザイン思考を用いた「課題解決ワークショップ」を全3回にわたり実施しました。



「課題解決ワークショップ」で出た主な意見

第1回

知る

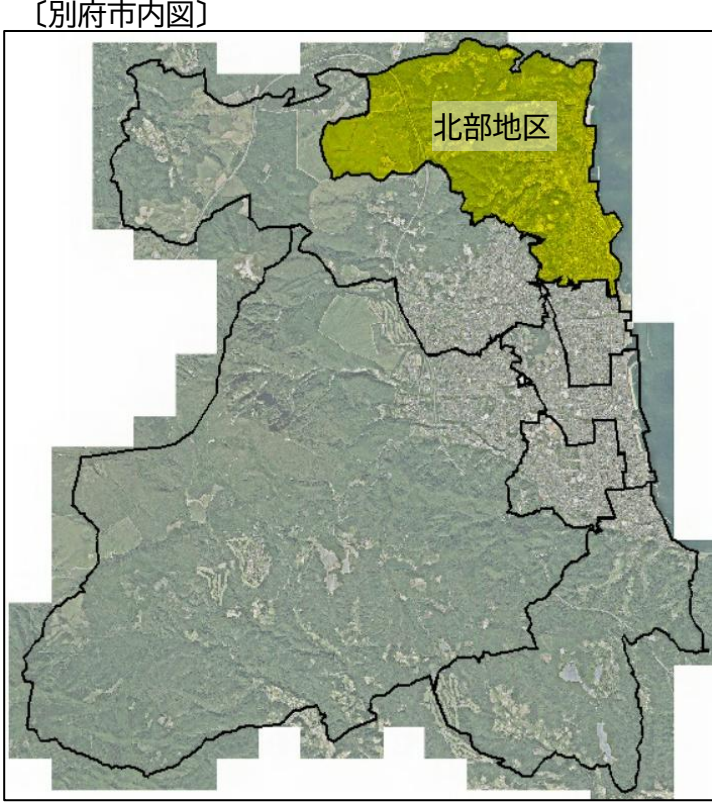
ワークショップの中で北部地区に潜在する課題を洗い出し、重要度の高い課題は何なのかを考えました。

■ワークショップで挙げた課題	
キーワード：子ども、若い世代、後継者	キーワード：学生との交流
実際の意見 ●子ども会の会員不足により、子ども会がない地域がある ●若い人にもっと地域に興味を持ってほしい ●取組の運営を若い人に分担したい ●次のリーダーになる人が必要	実際の意見 ●学生との交流を増やす、参加した学生がその後戻ってくることもある ●学生と地域は少しずつつながっている ●学生と継続的な活動をしたい
キーワード：組織体制	キーワード：自治会・協議会活動
実際の意見 ●役員の兼任が多い ●部会が少ない、声をかけるタイミングがない ●協議会の集まりが計画的に実行されておらず、効果的な話し合いができていない	実際の意見 ●興味がわく活動が必要 ●住民からの相談対応が多い ●夏祭りの参加人数が増えたが、祭りから地域活動につながっていない
キーワード：歴史・文化、地域性	キーワード：防災
実際の意見 ●神社・古墳などを中心にした祭りをしたい ●地域一帯で文化を伝え、文化財をまもる方法が必要 ●亀川と上人が分断されている感じがあるので、両方がかかわる新しいイベントが必要	実際の意見 ●防災士会の活動に地域差がある ●地域ごとの避難訓練が必要 ●防災に中学生の力を活用する ●高齢者避難が課題

北部ひとまもり・まちまもり協議会の概要

■ 地区の基本情報

設立	令和元年9月1日
事務所	別府市亀川浜田町1番36号 別府競輪場内
構成団体	自治会(上人・亀川23自治会)、民生委員児童委員協議会、社会福祉協議会、老人会、青少年育成協議会、体育協会、小学校、中学校、PTA、地区公民館、地域包括支援センター、さんもく会、亀川の自然環境を守る会、堂面棚田を守る会
該当地区	亀川四の湯町、平田町、照波園町、上人ヶ浜町、上人本町、上人仲町、上人西、上平田町、大観山町、古市町、亀川浜田町、亀川中央町、亀川東町、野田、内竈、国立第一、国立第二、小坂、大所、関の江新町、スパランド豊海
面積	約 15.05 km ²
人口	北部地区全体:17,587人 15歳未満:1,441人 15～64歳:9,840人 65歳以上:6,306人 (令和6年7月末現在)
高齢化率	35.8%



第2回

見る

北部地区が目指すべき姿を考えました。

第3回

創る

北部地区が実際に取り組みたいアイデアを出し合いました。

